南阿蘇中学校職場体験だより

9月16日から18日にかけて、南阿蘇中学校1・2年生160人が職場体験学習を行いました。今年度は、学校で取り組んでいる起業体験学習の一環として、10月31日に開催される「あつまり～ん祭」での実演販売に向けて協力いただく事業者を中心に、村内約40カ所を訪れました。

この体験は「働く」ことを通じて社会の「マナー」や「厳しさ」、「喜び」、「責任」について考えることを目的に実施されていて、今回、生徒たちに学んだこと、感じたことなど話を聞きました。

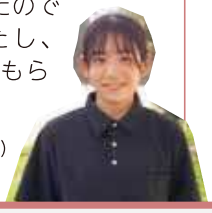
この記事は、役場で職場体験をした生徒に作成してもらったものです。

BIOBIO工場

社長として、あつまり～ん祭で売る「阿蘇火山カレー」を作りました。最初からカレーを作るのは初めてで、野菜の量などを考えなければいけないことに難しさを感じました。みんなと協力しながらカレーを作るところにやりがいを感じられて、とても楽しかったです。

大津 栄斗さん（2年生）
書き手：大塚

カレーの試作品作りや、工場の仕事のお手伝いをしました。私は料理をすることと、カレーが好きだったので体験先に選びました。試作品は何回も試行錯誤して作りました。作っていくうちに、より一層美味しくなったのでとても嬉しかったし、多くの人に食べてもらいたいです。



徳永 瑛奈さん（1年生）
書き手：久永

カレーの材料にもこだわり、肉や野菜、水も村内のものを使いました。カレーが好きでこの体験を選びましたが、実際に作ってみると特に味の微調節が難しかったです。大人でも子どもでも食べられるカレーを作るのが大変でしたが、満足いく仕上がりになったので嬉しかったです。

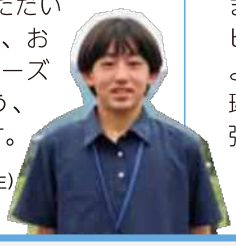
中津 和さん（1年生）
書き手：長野

310Books

コーヒーは幅広い年代の人に人気だと思い、社長になってコーヒーを作ることにしました。こだわったコーヒーを作るために、焙煎から挑戦しました。一から作るのは大変ですが、手間をかけるからこそおいしいコーヒーができると思うので、1杯ずつ心を込めて作ります。

坂井 珀飛さん（2年生）
書き手：長野

お客さんの前で実際にコーヒーを淹れるのはとても緊張しましたが、おいしいコーヒーを淹れられたときは嬉しく、達成感も感じられました。あつまり～ん祭では職業体験で教えていただいたことを活かして、お客さんの前でスムーズに淹れられるよう、一生懸命頑張ります。



山室 仁志さん（2年生）
書き手：久永

コーヒーの焙煎をしました。焙煎は手首を使うので、想像以上にきつかったです。匂いがどんどんコーヒーに近づいていき、そのコーヒーを注いだ時に喜びを感じました。当日、コーヒーがたくさん売れるように、PRや接客も班で力を合わせて頑張りたいです。

宮本 湿さん（2年生）
書き手：大塚

役場で広報係の体験をした生徒の感想

広報係の3人が書く記事が同じような内容にならないように、事前にインタビューの質問内容をたくさん考えるのが難しかったです。最後はそれぞれの良さが出るような文章になったので良かったです。

大塚 夏葵さん（1年生）

限られた短い時間でインタビューするのは難しかったです。みんな快く取材を受けてくれてありがたかったです。この経験をもとに、もっと自信をもって人と話せるようになりたいと思いました。

久永 潤さん（1年生）

取材で今まで話したことがなかった2年生と話せて、初めて知ったこともあって楽しかったです。これからは、自分からも相手に声をかけて、積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。

長野 永愛さん（1年生）

（写真左から）長野さん、久永さん、大塚さん